

ご 協 力 の お 願 い

日ごろから大和市政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

大和市では、「すべての子どもの健やかな成長を支えあうまち・やまと ～地域と共に安心して子育て・親育ち～」を基本理念として、子ども・子育て関連3法に基づく、「ハートンプラン（第二期大和市子ども・子育て支援事業計画）」により様々な施策を実施しています。

現在の計画の計画期間が令和6年度をもって満了することから、令和7年度以降を計画期間とする第三期大和市子ども・子育て支援事業計画を策定するため、また、子育て支援施策の充実のため、「大和市子ども・子育て支援に関する調査」を実施し、子育てをされているご家庭の現状、幼稚園や保育所に関する意向、地域の子育て支援のニーズ等を把握したいと考えています。

お忙しい日々をお過ごしのことと存じますが、皆様の声を大和市の子育て支援のさらなる充実に活かしていきたいと思います。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月

大和市長 古谷田 力

※この調査票は、住民基本台帳を基に、就学前児童（0～5歳）のいる世帯の中から3,000世帯を抽出し、お送りしています。対象者は無作為で抽出していることから、誠に申し訳ありませんが、重複して市の実施する他の調査票が送付される場合がございます。なお、抽出は令和5年10月24日現在の状況によるものです。



大和市イベントキャラクターヤマトン

日本語を読むことが難しい、
一人で回答するのは不安という方へ
回答のお手伝いをします。この紙の裏面を見てください。

回答をお送りいただいた方全員に、
後日、ささやかなお礼の品をお送りいたします。

かいとう 回答するために てつだい 手伝いが必要な場合は、 だいとしやくしょ 大和市役所 ことも さんむ 総務課 政策調整係

046-260-5606 までお電話ください。

がいこくじん ほごしゃ みなさま
外国人保護者の皆様へ

Dear Parents/Guardians,

This survey is conducted by Yamato City in order to obtain information from parents raising children in this City in order to inquire about the status of the use of childcare support services and wishes regarding these services.

We would appreciate your cooperation as we would like to hear the opinions of foreign residents as well.

For inquiries about this questionnaire, please contact

Policy Coordination Section, Child Affairs and General Affairs Division, Yamato City Office

Phone number: 046-260-5606

If you need an interpreter to answer the questionnaire, you can use the free interpretation service of the Yamato International Association.

Sres. padres o apoderados:

Esta encuesta la realiza la ciudad de Yamato para preguntarles a los padres o apoderados que están criando niños en la ciudad de Yamato sobre el uso de los servicios de apoyo a la crianza de los niños y lo que desean, etc. con el fin de utilizarlo en planes futuros.

Nos gustaría escuchar también las opiniones de los ciudadanos extranjeros, por lo que pedimos su cooperación.

Consultas sobre esta encuesta:

Encargado de coordinación de políticas de la Sección de asuntos generales de los niños de la Municipalidad de Yamato

(Yamato Shiyakusho Kodomo sōmu-ka Seisaku chōsei-gakari)

Teléfono: 046-260-5606

Si necesita un intérprete para responder las preguntas, lo conduciremos al servicio de interpretación gratuito proporcionado por la Asociación Internacional de la ciudad de Yamato (Yamato-shi Kokusai-ka kyōkai no muryō tsūyaku sabisu).

Sa lahat ng mga magulang:

Itong questionnaire survey ay isinasagawa ng Yamato city para magtanong tungkol sa mga pangyayari ng pag gamit ng Childcare support service at ang mga request sa lahat ng magulang na nag aalaga ng mga bata upang magamit sa mga plano sa pagdating ng panahon.

Gusto naming pakinggan ang mga opinyon ng mga dayuhang mamamayan. Salamat sa iyong kooperasyon.

Impormasyon sa pakikipag-ugnayan tungkol sa questionnaire sa

Yamato City Hall Children's General Affairs Division Policy Coordination Section

Contact Number: 046-260-5606

Kung kailangan niyo ng translation, magagamit nyo ang free interpretation service ng Yamato International Association Public Interest Incorporated Foundation.

Kính gửi các vị phụ huynh

Bản khảo sát này được thành phố Yamato thực hiện nhằm vào các gia đình có con tại thành phố về tình hình sử dụng các dịch vụ hỗ trợ nuôi dạy trẻ và mong muốn nguyện vọng của họ về việc sử dụng chúng trong tương lai. Chúng tôi cũng mong muốn lắng nghe ý kiến của các công dân nước ngoài và mong nhận được sự hợp tác của các bạn.

Các câu hỏi liên quan đến bảng khảo sát này vui lòng liên hệ

Phòng điều phối chính sách ban tổng hợp trẻ em của toà thị chính Yamato

SĐT: 046-260-5606

Nếu bạn cần thông dịch viên hỗ trợ việc trả lời các câu hỏi này, chúng tôi sẽ hướng dẫn bạn sử dụng dịch vụ thông dịch miễn phí do Hiệp hội quốc tế cung cấp.

致家长诸位

大和市实施此项问卷调查的宗旨是，向居住在大和市、正处于育儿期的家长们听取利用育儿援助服务的状况和需求，以便能够更好的运用于今后的计划。

同时也希望能够听到外国人市民的意见，希望能得到大家的协助支持。

关于此项问卷调查的咨询方式

大和市政府儿童总务科政策调整工作组

电话号码：046-260-5606

如果在回答问卷时需要翻译，会为您介绍公益财团法人大和市国际化协会的免费翻译服务。

こうえきざいだんほうじん や ま と し こくさいかきょうかい
公益財団法人 大和市国際化協会

The Yamato Interntional Association Office

Address: Shimin Katsudou Kyoten Betelgeuse North Build. 1st Fl.,
1-3-17 Fukami-Nishi, Yamato

TEL: 046-265-6051 FAX: 046-265-6052

Hours: Mon-Fri, 1st and 3rd Sat, 8:30-17:00

E-mail: pal@yamato-kokusai.or.jp

URL: http://www.yamato-kokusai.or.jp

No free parking lots are available.

ちず
地図



・Mapa
・ Bản
・ Map
・ 地图

むりようつうやく
無料通訳サービス



・Servicio gratuito de interprete
・Free Interpretation Service
・Dịch vụ thông dịch miễn phí
・Libreng interpreter service
・免费翻译服务指南



大和市子ども・子育て支援に関する調査

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査です。調査票は、内閣府による「子ども・子育て会議」作成の共通の項目をベースとしながら大和市で決めました。

調査結果は、個人を特定するものではなく、統計的に処理をされ、子ども・子育て支援の取り組みに活用されます。また、この回答がその他の目的で利用されることはありません。ぜひ、ご協力ください。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。そのため、将来の利用希望を変更していただいて構いません。また、ご要望等に対し、個別にお答えすることはできませんので、ご了承ください。

【ご記入にあたってのお願い・ご注意】

1. ご回答は、**宛名のお子さまの保護者の方**にお願いします。
なお、本調査は無記名の調査となります。自由記入欄や余白等にも氏名・住所等の個人情報を書かないでください。
2. 回答時間は 30 分～60 分程度です。設問数は 41 問、分岐を入れると 90 問です。
設問数が多いですが、最後までご回答をお願いします。
3. 別紙として「用語の解説」を添付しています。
ぜひご一読いただき、回答の際のご参考としてください。
4. 本調査は、この調査票に直接記入する以外に、Web 上で回答することができます。Web 上での回答を希望する場合は、右の二次元バーコードから回答画面にお進みください。
紙の調査票か Web のどちらか一方でのみご回答ください。
5. この調査票に直接ご回答いただく場合は、黒または青のボールペン、万年筆、濃い鉛筆等をご使用ください。



ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
11月30日（木）までにご投函をお願いいたします。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

大和市役所 こども総務課 政策調整係 電話：046-260-5606
(電話受付時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00)

※ アンケート調査および謝品の発送業務を、株式会社地域環境計画に委託しております。
ご記入いただきました調査票は、情報漏えいや紛失がないよう、十分な情報管理体制の下で取り扱います。
ご理解くださるようお願い申し上げます。

皆さまからの回答は地域の子育て支援の充実に活かされます

子育て家庭



こんな子育て支援を使っています
こんな子育て支援があったらいいな

議論を踏まえて作成した
調査票を送付



子育て支援の利用状況や
利用希望等を回答

大和市 子ども・子育て会議



調査等によって把握した
利用希望等を考慮して
今後の計画を策定
(令和6年度策定予定)

第3期大和市子ども・子育て 支援事業計画（5か年計画）

サービスの利用状況や利用希望を参考に、
将来の利用量を想定し、
必要なサービス提供体制を定めます。

幼稚園、認可保育所、
認定こども園

小規模な保育施設、
家庭的保育 等

放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、
一時預かり、病児・病後児保育 等

皆さまのご意見が、大和市の子育て支援の充実に繋がっています

子育てしやすい市を目指し、市ではさまざまな取組を進めています。
たとえば、認可保育所等の定員を計画的に増やしたり、お仕事をしても幼稚園を利用しやすいよう送迎ステーションを整備したり、理由を問わずに一時預かり保育を利用できる施設も充実しています。
詳しくは、大和市の子育てポータルサイトからぜひご覧ください。



大和市の子育てポータルサイトの『やまとの子育ては"ここ"がすごい』のページへ

大和市子ども・子育て会議について

子ども・子育て支援法に基づき設置され、子育て支援事業者や子育て中の保護者等、17人の委員で構成されています。

今回の調査の結果については、子ども・子育て会議に報告し、会議での議論を経て、今後の計画策定に活用します。

現在の子ども・子育て支援事業計画や子ども・子育て会議の会議録、過去の調査結果については市のホームページで公開しています。



子ども・子育て会議のページへ

1. お子さんのご家族の状況について

問 1 お住まいの地区はどこですか。

【○は1つ】

1. 下鶴間・つきみ野
2. 中央林間・中央林間西
3. 南林間・林間・鶴間・西鶴間・上草柳(5丁目～9丁目)・深見西(5丁目～8丁目)
4. 上草柳(1丁目～4丁目、地番)・桜森
5. 深見・深見西(1丁目～4丁目)・深見東・深見台・大和東・大和南
6. 中央・草柳・下草柳・柳橋(1丁目、4丁目)
7. 柳橋(2丁目、3丁目、5丁目)・福田(1丁目～8丁目)
8. 上和田(上和田団地を除く)
9. 上和田団地・下和田・いちよう団地
10. 福田(地番)・渋谷・代官

問 2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

西暦 20□□ 年 □□ 月 生まれ

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。
また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

きょうだい数 □ 人 末子の生年月 西暦 20□□ 年 □□ 月 生まれ

問 4 宛名のお子さんを含む家族構成をお答えください。

【○は1つ】

1. 両親とお子さん(宛名のお子さん以外のお子さんを含む)
2. ひとり親(母親または父親)とお子さん(宛名のお子さん以外のお子さんを含む)
3. その他(3世代世帯など)

問 5 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。【□内に数字で記入】

(あなたを含めた)ご家族の人数 □ 人

問 6 ご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問 7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【○は1つ】

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。 【あてはまるものすべてに○】

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他() | | |

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。 【あてはまるものすべてに○】

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他() | | | | |

問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } →問10-1△ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } →問10-2△ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | →問11△ |

《問 10 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます》

問 10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 祖父母に負担をかけていることについて、心苦しく感じている |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他() |

《問 10 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます》

問 10-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 友人・知人に負担をかけていることについて、心苦しく感じている |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他() |

3. 保護者の就労状況について

問 11 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

※父子家庭の場合は記入不要です。問12へお進みください。

【○は1つ】

1. フルタイム(注)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(注)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問11-1へ

問11-3へ

(注)フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等:「フルタイム」以外の就労

「問11で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます」

問11-1 「1週当たりの就労日数」、「1日当たりの就労時間(残業時間を含む)」及び

「家を出る時間」、「帰宅時間」をお答えください。【□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数 日	1日当たりの就労時間 時間
家を出る時間 時台	帰宅時間 時台

※自宅で就労している場合は、仕事を開始する時間、仕事を終了する時間をお答えください。
※時間は、必ず(例)08 時～18 時のように、24 時間制でご記入ください。

「問 11で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます」

問 11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

【○は1つ】

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. フルタイムへの希望あり(実現の見込みあり) | 2. フルタイムへの希望あり(実現の見込みなし) |
| 3. パート・アルバイト等の就労継続希望 | 4. パート・アルバイト等をやめて子育てに専念したい |

(注)フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)

「問 11で「5～6」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます」

問 11-3 就労したいという希望はありますか。【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1. 就労の希望はない ➡問11-4へ	
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
希望する 就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
➡1週あたり 日 1日あたり 時間	

「問 11-3で「1.就労の希望はない」に○をつけた方にうかがいます」

問11-4 就労を希望しない理由

【あてはまるものすべてに○】

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------------------------|
| 1. 希望する条件の仕事がない | 2. 子育てを優先したい | 3. 家族の介護・介助のため |
| 4. 自分の病気や障がいのため | 5. 通学しているため | 6. その他() |

問 12 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

※母子家庭の場合は記入不要です。問13へお進みください。

【〇は1つ】

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. フルタイム(注)で就労しており、育休・介護休業中ではない | } 問12-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等(注)で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } 問12-3へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(注)フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等:「フルタイム」以外の就労

《問12で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます》

問12-1 「1週当たりの就労日数」、「1日当たりの就労時間(残業時間を含む)」及び

「家を出る時間」、「帰宅時間」をお答えください。【□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数		日	1日当たりの就労時間			時間	
家を出る時間			時台	帰宅時間			時台
※自宅で就労している場合は、仕事を開始する時間、仕事を終了する時間をお答えください。 ※時間は、必ず(例)08 時～18 時のように、24 時間制でご記入ください。							

《問 12で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます》

問 12-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

【〇は1つ】

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. フルタイムへの希望あり(実現の見込みあり) | 2. フルタイムへの希望あり(実現の見込みなし) |
| 3. パート・アルバイト等の就労継続希望 | 4. パート・アルバイト等をやめて子育てに専念したい |

(注)フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)

《問 12で「5～6」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます》

問 12-3 就労したいという希望はありますか。

【〇は1つ】

1. 就労の希望はない ➡ 問12-4へ	
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
希望する 就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
➡1週あたり 日 1日あたり 時間	

《問 12-3で「1.就労の希望はない」に○をつけた方にうかがいます》

問12-4 就労を希望しない理由

【あてはまるものすべてに○】

- | | | |
|-----------------|--------------|----------------|
| 1. 希望する条件の仕事がない | 2. 子育てを優先したい | 3. 家族の介護・介助のため |
| 4. 自分の病気や障がいのため | 5. 通学しているため | 6. その他() |

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 13-1 に示した事業が含まれます。詳しくは、別紙「用語の解説」をご覧ください。

問 13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
【○は1つ】

1. 利用している →問13-1へ

2. 利用していない →問13-5へ

≪問 13-1～問 13-4は、問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます≫

問 13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)
4. 認定こども園
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の許可を受けた定員がおおむね6～19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認定保育施設(認可保育所ではないが、大和市が認定した施設)
9. その他の私設保育施設
10. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. 送迎ステーション(幼稚園等と連携し教育時間の前後に子どもを預かる事業)
13. その他()

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか(問 13-1で複数選択をした方は、その合計を記載してください)。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、ご記入ください。

※時間は、必ず(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1)現在の利用状況

【□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1週あたり □ 日 1日あたり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

(2)希望する利用状況

【□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1週あたり □ 日 1日あたり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

問 13-3 現在、定期的に利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。 【○は1つ】

- | | | | |
|--------------|--------|---------|--------|
| 1. 大和市内 | 2. 横浜市 | 3. 相模原市 | 4. 町田市 |
| 5. 他の市区町村() | | | |

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子どもの教育や発達のため |
| 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している |
| 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である |
| 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している |
| 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある |
| 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である |
| 7. その他() |

≪問 13 で「2. (幼稚園や保育所などを)利用していない」に○をつけた方にうかがいます≫

問 13-5 (幼稚園や保育所などを)利用していない理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入】

- | |
|--|
| 1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない |
| 8. 子どもがまだ小さいため(<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている) |
| 9. その他() |

問 13-6 国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)」(注)が創設された場合、週に何日くらい利用したいと思いますか。「1.利用したい」の場合は日数、時間数及び時間帯を記入してください。 【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1. 利用したい

週 日 1回あたり 時間程度 時間帯 から まで

2. 利用したいと思わない

(注) 「こども誰でも通園制度(仮称)」—普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就学園児を、月一定時間までの利用枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度

問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、どの事業を「定期的に」利用したいと考えますか。

【あてはまるものすべてに○】

現在、幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスの子どもたち、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまでの子どもたちの利用料は幼児教育・保育の無償化の対象となっています。詳しくは内閣府のホームページをご確認ください。



内閣府HP

- | |
|---|
| 1. 幼稚園(通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの) |
| 4. 認定こども園 |
| 5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の許可を受けた定員がおおむね6～19人のもの) |
| 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 8. 認定保育施設(認可保育所ではないが、大和市が認定した施設) |
| 9. その他の私設保育施設 |
| 10. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 11. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業) |
| 12. 送迎ステーション(幼稚園等と連携し教育時間の前後に子どもを預かる事業) |
| 13. その他() |

問 14-1 定期的に教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。

【○は1つ】

- | | | | |
|--------------|--------|---------|--------|
| 1. 大和市内 | 2. 横浜市 | 3. 相模原市 | 4. 町田市 |
| 5. 他の市区町村() | | | |

「問 14」で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方のうち、「3～10」に1つでも○をつけた方にうかがいます」

問 14-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか。

【○は1つ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

5. 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

≪平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方

（問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます≫

問 15-1 この1年間に宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。あった場合は、そのときに行った対処方法をお答えください。また、それぞれの日数もご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

【1または2のいずれかに○ / 1に○の場合、ア～コのあてはまるものすべてに○

→□内に数字で記入・数字は一枠に一字】

対処方法	この1年間の 対処日数		
1. 普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことがある			
ア. 父親が休んだ			日
イ. 母親が休んだ			日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった			日
エ. 父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもを看た			日
オ. 父親又は母親がリモートワークや時差勤務等の取得により仕事をしながら対応した			日
カ. 病児・病後児の保育を利用した			日
キ. ベビーシッターを利用した			日
ク. ファミリーサポートセンターを利用した			日
ケ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			日
コ. その他()			日
2. 普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはない			

問 15-2 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、どのように対処しようと思いますか。病児・病後児の保育を利用しようと思う方は、利用したいと思う日数もご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

対処方法	利用したいと 思う日数/年		
ア. 父親が休む			
イ. 母親が休む			
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらう			
エ. 父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもを看る			
オ. 父親又は母親がリモートワークや時差勤務等の取得により仕事をしながら対応する			
カ. 病児・病後児の保育を利用する			日
キ. ベビーシッターを利用する			
ク. ファミリーサポートセンターを利用する			
ケ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせる			
コ. その他()			

「問 15-1で「カ.病児・病後児の保育を利用した」に○をつけた方、あるいは15-2で「カ. 病児・病後児の保育を利用する」に○をつけた方にうかがいます」

問 15-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| 1. 幼稚園や保育所等に併設した施設で病児を保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で病児を保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター等) |
| 4. 病児保育のみを行う施設で病児を保育する事業 |
| 5. その他() |

「問 15-1で「カ.病児・病後児の保育を利用した」あるいは15-2で「カ. 病児・病後児の保育を利用する」に○をつけなかった方にうかがいます」

問 15-4 そう思われる理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| 1. 病児・病後児の保育以外の方法により対応する |
| 2. 病児・病後児の保育の利用対象外である(家庭での保育が可能等) |
| 3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 |
| 4. 地域の事業の質に不安がある |
| 5. 地域の事業の利便性がよくない(立地や利用方法・利用可能時間・日数など) |
| 6. 利用料がかかる・高い |
| 7. 利用方法・利用料がわからない |
| 8. その他() |

「問 15-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかで対処された方にうかがいます」

問 15-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。また、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

- | | | | |
|---------------------------|---|-----|------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい | → | □ □ | 日/1年→問 16へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい→問 15-6へ | | | |

「問 15-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます」

問 15-6 そう思われる理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|----------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない |
| 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 4. その他() |

問16 大和市内に病児保育施設があること、大和市に在住の方が利用できる市外(厚木市、海老名市、綾瀬市、座間市)の病児保育施設があることを知っていますか。 【あてはまるものすべてに○】

1. 知っていて、すでに市内の施設に利用登録をしている
2. 知っていて、すでに市外の施設に利用登録をしている
3. 知っていて、利用したいと考えているが利用登録はしていない
4. 知っていて、利用する予定がないため利用登録はしていない
5. 知らなかった
6. その他()

令和5年4月1日から病児保育事業の広域連携が始まり、近隣の病児保育施設の相互利用ができるようになりました。くわしくは、リンク先から「病児保育施設の相互利用のご案内」をご覧ください。



問17 病児保育施設を利用する場合に、最も重視する事項に○をつけてください。 【○は3つ】

1. 複数の病児を保育するうえでの感染症対策
2. 保育・看護の内容
3. 保育施設の環境・設備
4. 開室日、開室時間
5. 緊急時の対応等の医療機関との連携
6. 登録、予約等の手続き方法
7. 施設の立地等の送迎に関すること
8. 家庭での保育に関する相談、助言
9. その他()

6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

- 1. 利用する必要はない
- 2. ほぼ毎週利用したい
- 3. 月に1～2 回は利用したい

利用したい時間帯

→ □ □ 時から □ □ 時まで

(2)日曜日・祝日

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

- 1. 利用する必要はない
- 2. ほぼ毎週利用したい
- 3. 月に1～2 回は利用したい

利用したい時間帯

→ □ □ 時から □ □ 時まで

≪問 18 の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます≫

問 18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。 【あてはまるものすべてに○】

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他()

≪「幼稚園」を利用されている方

(問13-1で「1.幼稚園(通常の就園時間の利用)」に○をつけた方)にうかがいます≫

問 19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

- 1. 利用する必要はない
- 2. 休みの期間中、ほぼ毎週利用したい
- 3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

→ □ □ 時から □ □ 時まで

≪問 19 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます≫

問 19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。 【あてはまるものすべてに○】

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他()

7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。また、1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

利用している事業	日数(年間)		
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)			日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)			日
3. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)			日
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)			日
5. ベビーシッター			日
6. その他()			日
7. 利用していない→問20-1へ			

→問21へ

«問 20で「7. 利用していない」と○をつけた方にうかがいます»

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性がよくない(立地や利用可能時間・日数など)
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. 利用しようとしたが空きがなかった
10. その他()

問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。また、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

【○は1つ→あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 利用したい	計			日
ア. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	うち			日
イ. 不定期の就労	うち			日
ウ. 自分の休息、リフレッシュ目的	うち			日
エ. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)	うち			日
オ. その他()	うち			日
2. 利用する必要はない				

問 22 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業※(ショートステイ)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号にすべて○をつけ、必要な泊数をご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

【○は1つ→あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 利用したい	計			泊
ア. 冠婚葬祭	うち			泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	うち			泊
ウ. 保護者や家族の病気	うち			泊
エ. その他()	うち			泊
2. 利用する必要はない				

※ 児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業で、市内にはありません

8. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場(こどもーる)」「子育て支援センター」と呼ばれています)を利用していますか。また、おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。

【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	
1週あたり 回	もしくは 1か月あたり 回程度
2. その他、本市で実施している類似の事業(具体名: _____)	
1週あたり 回	もしくは 1か月あたり 回程度
3. 利用していない	

問 24 問 23 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一桁に一字】

1. 利用していないが、今後利用したい	
1週あたり 回	もしくは 1か月あたり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1週あたり 回	もしくは 1か月あたり 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 25 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。ア～キの事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。【それぞれ○は1つ】

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
1. 母親(父親)学級※1、育児学級※2	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 子育て何でも相談・応援センター※3	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 保育コンシェルジュ※4	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 家庭教育に関する学級・講座※5	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
6. 子育て支援施設等の子育て相談※6	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
7. 市の子育て支援ポータルサイト※7	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

※1 大和市では「プレママ・パパ教室」として開催 ※2 大和市では「もぐもぐ教室」や「1才育児教室」などを開催

※3 保健福祉センターにおいて、妊娠前から妊娠・出産・子育て期の様々な相談に専門の保健師や相談員が対応しています

※4 保健福祉センター、子育て支援施設「きらきらぼし」、屋内こども広場、公私連携型子育て支援施設「こどもの城」において、予約制で各家庭の状況に応じた保育サービスについて、専門の相談員が対応しています

※5 幼稚園や小学校等を拠点として、親同士が学習したいことを自ら企画し、計画的・継続的に活動を行うものです

※6 子育て支援センター、つどいの広場(こどもーる)、子育て支援施設「きらきらぼし」、屋内こども広場、市内保育園等で行っています

※7 大和市では「子育て王国大和市」という名称で開設しています

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（宛名のお子さんが5歳以上）

➡5歳未満の方は「問30」へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。さらに、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※時間は、必ず(例)18 時のように 24 時間制でご記入ください。

【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週		日くらい
4. 児童館(コミュニティセンター)	週		日くらい
5. 放課後子ども教室・放課後寺子屋やまと	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週		日くらい 下校時から 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週		日くらい
8. こども食堂	週		日くらい
9. その他(学習センター、公園など)	週		日くらい

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。さらに、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※時間は、必ず(例)18 時のように 24 時間制でご記入ください。

【あてはまるものすべてに○→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週		日くらい
4. 児童館(コミュニティセンター)	週		日くらい
5. 放課後子ども教室・放課後寺子屋やまと	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週		日くらい 下校時から 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週		日くらい
8. こども食堂	週		日くらい
9. その他(学習センター、公園など)	週		日くらい

≪問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます≫

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯は、必ず(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯					
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□	□	時から	□	□	時まで
3. 利用する必要はない							

(2)日曜日・祝日

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯					
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□	□	時から	□	□	時まで
3. 利用する必要はない							

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

【○は1つ→□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯					
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□	□	時から	□	□	時まで
3. 利用する必要はない							

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

《母親（お母様にうかがいます）》

問 30 (母親) 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。 【○は1つ】

さらに、取得していない方は、育児休業を取得していない理由もお答えください。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

母 親	
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 取得期間 日 3. 取得していない 取得していない理由 (右から番号をいくつでも選んで ご記入ください) 番号 ()	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()

《問30で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます》

問30-1(母親) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。 【○は1つ】

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

《問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます》

問30-2(母親) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミング
 でしたか。あるいはそれ以外でしたか。 【○は1つ】

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問30-3(母親) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

実際の取得期間		歳			か月
希望		歳			か月

「問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます」

問30-4(母親) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

	歳			か月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

「問30-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます」

問30-5(母親) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【あてはまるものすべてに○】

(1)「希望」より早く復帰した方

(2)「希望」より遅く復帰した方

1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. その他()	5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
	6. その他()

「問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます」

問30-6(母親) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つ】

- | |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)→問30-7へ |
|--|

「問30-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます」

問30-7(母親) 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他() |
|--|

「問30-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます」

問30-8(母親) 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【○は1つ】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

≪父 親（お父様にうかがいます）≫

問 31（父親） 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。 【○は1つ】

さらに、取得していない方は、育児休業を取得していない理由もお答えください。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

父 親	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に戻るのが難しそうだった 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育所（園）などに預けることができた 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため退職した 10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 12. 育児休業を取得できることを知らなかった 13. その他（ ）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 取得期間 日	
3. 取得していない 取得していない理由 （右から番号をいくつでも選んで ご記入ください） 番号 （ ）	

≪問31で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます≫

問31-1（父親） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。 【○は1つ】

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

≪問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます≫

問31-2（父親） 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。 【○は1つ】

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問31-3（父親） 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

実際の取得期間 歳 か月	希望 歳 か月
--	---

「問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます」

問31-4(父親) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

□	歳	□	□	か月
---	---	---	---	----

【□内に数字で記入/数字は一枠に一字】

「問31-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます」

問31-5(父親) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【あてはまるものすべてに○】

(1)「希望」より早く復帰した方

(2)「希望」より遅く復帰した方

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他()	1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみってくれる人がいなかったため 6. その他()
---	---

「問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます」

問31-6(父親) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つ】

- | |
|---|
| <p>1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)</p> <p>2. 利用した</p> <p>3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)→問31-7へ</p> |
|---|

「問31-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます」

問31-7(父親) 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| <p>1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった</p> <p>2. 仕事が忙しかった</p> <p>3. 短時間勤務にすると給与が減額される</p> <p>4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる</p> <p>5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した</p> <p>6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた</p> <p>7. 子育てや家事に専念するため退職した</p> <p>8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)</p> <p>9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった</p> <p>10. その他()</p> |
|---|

「問31-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます」

問31-8(父親) 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。 【○は1つ】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

11. 子育てや子育て支援等について

問 32 現在、子育てをされていて感じる困りごとは何ですか。

【それぞれ〇は1つ】

	とても困っている	やや困っている	あまり困っていない	全く困っていない
1. 子どもの健康や発育・発達・行動に関すること	1	2	3	4
2. 子どもの食事や栄養に関すること	1	2	3	4
3. 育児の方法がよくわからない	1	2	3	4
4. 子どもとの接し方に自信が持てない	1	2	3	4
5. 子どもとの時間を十分にとれない	1	2	3	4
6. 話し相手や相談相手がいらない	1	2	3	4
7. 子どもの教育に関すること	1	2	3	4
8. 子育てに関しての配偶者の協力が少ない	1	2	3	4
9. 配偶者と子育てに関しての意見が合わない	1	2	3	4
10. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	1	2	3	4
11. 子育てを手伝ってくれる人が誰もいない	1	2	3	4
12. 子どもを叱りすぎているような気がする	1	2	3	4
13. 子育てのストレスがたまっている	1	2	3	4
14. 子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	4
15. 地域の子育て支援サービスがよくわからない	1	2	3	4
16. 子育てと仕事との両立が十分にできない	1	2	3	4
17. 子育ての出費がかさむ	1	2	3	4
18. 子どもが病気がちである	1	2	3	4
19. 急な時に頼れる人がいない	1	2	3	4
20. 子育てに追われ、社会から孤立するようになる	1	2	3	4
21. 自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	4
22. 家事をする時間が十分にとれない	1	2	3	4
23. 一人になれる時間がない(欲しい)	1	2	3	4
24. 睡眠時間が足りない	1	2	3	4
25. 子育てと親等の介護を同時にしなければならない	1	2	3	4
26. 子どもとテレビやインターネット、ゲームとの付き合い方	1	2	3	4

問 33 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。

【○は1つ】

1. いる／ある →問33-1 △

2. いない／ない →問33-2 △

「問 33 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます」

問 33-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| 1. 親やきょうだいなどの親族 |
| 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 |
| 4. 市の保健福祉センター等の相談事業
(子育て何でも相談・応援センター、赤ちゃん訪問、乳幼児健診、保育コンシェルジュ等) |
| 5. 子育て支援施設の子育て相談
(子育て支援センター、つどいの広場(こども一る)、きらきらぼし、屋内こども広場、市内保育園等) |
| 6. 子どもが通う保育所等の保育士 |
| 7. 子どもが通う幼稚園の幼稚園教諭 |
| 8. かかりつけの医師 |
| 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. その他() |

「問 33 で「2.いない／ない」に○をつけた方にうかがいます」

問 33-2 子育てに関して気軽に相談できない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 誰に相談したらよいか分からない | 2. 相談することが恥ずかしい |
| 3. (施設や機関など)相談の時間が合わない | 4. 自分が忙しい |
| 5. 相談場所が遠い | 6. 適切な人・相談場所がない |
| 7. 相談したこと機密が守られるか不安 | 8. 相談先自体を知らない |
| 9. その他() | |

問 34 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、次のようなことはありましたか。

【それぞれ1つに○】

	な か っ た	あ っ た
1. 子どものための本や絵本が買えなかったこと	1	2
2. 子どものためのおもちゃを買えなかったこと	1	2
3. 子どもの成長に合わせた服や靴を買えなかったこと	1	2
4. 子どもを保育所・幼稚園などの行事(費用のかかるもの)に参加させられなかったこと	1	2
5. 子どもの誕生日を祝えなかったこと	1	2
6. ご家族の衣服が買えなかったこと	1	2
7. ご家族の食料が十分に買えなかったこと	1	2
8. 家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかったこと	1	2
9. 家賃が払えなかったこと	1	2
10. 電気・ガス・水道・電話料金が払えなかったこと	1	2

問35 あなたの世帯の昨年1年間(令和4年1月1日～12月31日)の収入(手取額)はいくらですか。

【○は1つ】

1. 100 万円未満	2. 100～150 万円未満	3. 150～200 万円未満
4. 200～250 万円未満	5. 250～300 万円未満	6. 300～350 万円未満
7. 350～400 万円未満	8. 400～500 万円未満	9. 500～600 万円未満
10. 600～800 万円未満	11. 800～1,000 万円未満	12. 1,000 万円以上

問36 子育てをしてよかったこと、うれしかったことは何ですか。

【○はいくつでも】

1. 子どものしぐさや言葉	2. 子どもの成長
3. 子育てを通じた自分の経験や成長	4. 家庭が明るくなった
5. 子育てを通じて友人が増えた	6. 自分の親への理解が深まった
7. パートナーとの関係がよかった	8. その他()
9. 特になし	

問37 今後、子育て支援の充実に向けて、どのようなことを望みますか。

【○はいくつでも】

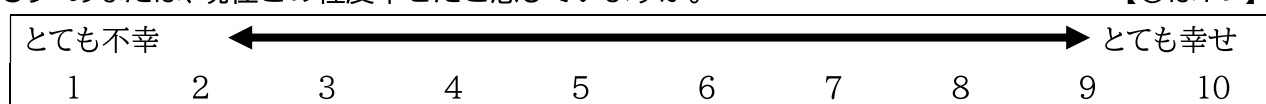
1. 妊娠前・妊娠中の相談・支援の充実
2. 保育所等の新規整備等による定員拡大
3. 保育・教育施設の職員の専門性の向上
4. 子どもを一時的に預けられるサービスの充実
5. 出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成
6. 子育て支援サービスに関する情報提供の充実
7. 子どもとの関わり方を教えてくれる機会の充実
8. 子育てについて相談できる体制の充実
9. ICT を活用した子育て支援の充実
10. 子育て中の親が気軽に交流できる場所・機会の充実
11. 子育て家庭の家事を支援するサービス
12. 子どもの遊び場の充実
13. 子どもの様々な体験活動の充実
14. 子どもがスポーツを行う機会の充実
15. 子どもが安心して過ごせる居場所づくり
16. 障がい児支援の充実
17. 交通事故や犯罪から子どもを守る環境の整備
18. 子連れの方が街中を移動しやすい環境の整備
19. 地域社会全体として子育て家庭が温かい目で見守られる環境づくり
20. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
21. 子どもの意見を政策に反映させる仕組みづくり
22. その他()

うちとくに望むもの(3つ)⇒ ☐☐ 番 ☐☐ 番 ☐☐ 番

【それぞれ○は1つ】

	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない
1. 日々の暮らしで生きがいを感じている	1	2	3	4	5
2. 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる	1	2	3	4	5
3. 自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある	1	2	3	4	5
4. 子育てが楽しい	1	2	3	4	5
5. 子育てをしていて地域社会から見守られている、支えられていると感じる	1	2	3	4	5

【○は1つ】



。【○は1つ】



問41 最後に、子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、市役所の職員など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

[illegible]

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

用語の解説

■問 13-1、問 14 に答える際に参考となる用語の解説です。

用 語	説 明
幼稚園	原則、満3歳から就学前までの子どもを対象とし、通常1日4時間の幼児教育を行っています。市内には私立 14 園があります。
認定こども園	幼稚園と保育所の両方のよさをあわせ持つ施設です。保護者が働いている、いないにかかわらず、就学前の子どもを受け入れて、教育・保育を一体的に行うとともに、すべての子育て家庭を対象に、子育て相談や親子の集いの場の提供などを行います。市内には私立3園があり、利用時間は、教育利用は1日4時間、保育利用は利用する子の保育の必要性に応じ、1日8時間または 11 時間となります。
幼稚園の預かり保育	幼稚園や認定こども園の教育時間の前後に在園児を預かるサービスです。預かり時間は園により異なりますが、7時ころから 18 時ころまでとなっています。市内では、すべての幼稚園、認定こども園で行っています。
認可保育所	保護者の就労や病気などのために家庭で保育できない子どもを保護者に代わって保育する施設です。国が定める基準に基づき都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上の施設で、一般には「保育園」という名称を使っています。市内には公立4園、民間 55 園があります。利用時間は、利用する子の保育の必要性に応じ、1日8時間または 11 時間となります。
小規模な保育施設	保護者の就労などにより家庭で保育できない0～2歳児を対象として、少人数(6～19 人)の保育を行う施設です。国が定める基準に基づき市町村の認可を受けた施設で、市内には民間 26 園があります。
家庭的保育	保護者の就労などにより家庭で保育できない0～2歳児を対象として、少人数(5人以下)の保育を行う事業です。市町村の認可を受けて、保育者の家庭等で保育する事業で、市内にはありません。
事業所内保育施設	企業の従業員や病院の看護師などの福利厚生のため、職場内や職場の近くに設置された事業所の従業員の子ども等のための保育施設です。市内には6施設あります。
認定保育施設	認可を受けていない保育施設のうち、大和市が定めた基準を満たしており、市が認定し、運営に対し助成している施設です。市内には4施設あります。
その他の私設保育施設	いわゆる認可外の保育施設のことで、児童福祉法による認可を受けない保育施設の総称で、経営の形態はさまざまです。

■問 15-1、問 15-2、問 15-4 に答える際に参考となる用語の解説です。

用 語	説 明
病児・病後児の保育	保護者の就労などにより家庭で保育を行うことが困難で、病氣中または病氣の回復期にあり、かつ当面症状の急変が認められない子どもを預かるサービスです。市内には小児科に併設した施設が1か所、病児保育のみを行う施設が2か所あります。

用語の解説

■問 20 に答える際に参考となる用語の解説です。

用 語	説 明
(保育所などでの) 一時預かり	保護者の病気やけが、家族の介護、冠婚葬祭、労働、育児疲れなど預ける理由を問わずに子どもを一時的に保育するサービス(緊急的保育)と、保護者の就労、各種学校や職業訓練に通学しているなどの理由で週1～3日程度保育するサービス(非定型的保育)があります。市内では認可保育所など 84 園で緊急的保育を、31 園で非定型的保育を実施しています。
幼稚園の預かり保育	幼稚園や認定こども園の教育時間の前後に在園児を預かるサービスです。預かり時間は園により異なりますが、7時ころから 18 時ころまでとなっています。市内では、すべての幼稚園、認定こども園で行っています。

■問 23、24 に答える際に参考となる用語の解説です。

用 語	説 明
地域子育て支援拠点 事業	親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市内には3歳の最初の3月 31 日までの子どもを対象としたつどいの広場(こども一る)が4か所と未就学児を対象とした子育て支援センターがあります。

■問 26、27 に答える際に参考となる用語の解説です。

用 語	説 明
放課後子ども教室 放課後寺子屋やま	在籍する市内公立小学校において、保護者の就労の有無に関わらず、放課後に子どもたちが過ごすことができる居場所です。授業のある平日の放課後(3月～10月は午後5時まで、11月～2月は午後4時半まで)に行われ、開催日は学校によって異なります。放課後子ども教室は、ボール遊びや工作、ボードゲーム遊びなどができる「遊びの居場所」、放課後寺子屋やまとは、学習支援を受けながら勉強することができる「学びの居場所」です。
放課後児童クラブ	保護者の就労等により放課後等に保護者が家庭にいない児童に「生活の場」を提供します。平日は学校が終わってから午後7時まで、土曜日や長期休暇中は午前8時から午後7時まで開所しています。日曜日、祝日はお休みです。事業の利用にあたっては、要件があり、一定の利用料がかかります。放課後児童クラブから放課後子ども教室や放課後寺子屋やまに行くこともできます。
こども食堂	無料または安価で、お子さんや保護者の方へ食事提供などを行う場所です。大和市には、市が補助するこども食堂が8か所あります。

もっとくわしく知りたい、ほかにも知りたいことがある

・・・そんな時は、市の公式 LINE をご活用ください。

子育てポータルサイトへもリンクしやすく、気になるワードで検索できます。

